



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月10日

上場会社名 小倉クラッチ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6408 URL <http://www.oguraclutch.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小倉 康宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 河内 正美 (TEL) 0277-54-7101
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	9,451	△0.7	278	△6.0	100	△43.7	80	△17.8
28年3月期第1四半期	9,521	1.0	296	△14.1	178	△43.0	97	△17.1

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △485百万円(—%) 28年3月期第1四半期 288百万円(384.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.35	—
28年3月期第1四半期	6.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	39,636	15,252	37.7	997.25
28年3月期	41,188	15,907	37.8	1,038.85

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 14,933百万円 28年3月期 15,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期(予想)配当金は、現時点では未定とさせていただきます。

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,800	△2.6	490	△18.7	480	△15.4	420	18.2	28.04
通期	37,100	△4.1	640	△38.7	620	19.8	480	180.0	32.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	15,533,232株	28年3月期	15,533,232株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	558,707株	28年3月期	558,707株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	14,974,525株	28年3月期1Q	14,979,152株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しました。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高が進み、個人消費や企業収益も伸び悩みが見られるなど、先行き不透明な状況が続いています。

一方世界経済は、米国の景気は回復が続き、欧州の景気も緩やかに回復しましたが、中国をはじめとした新興国では景気減速が顕著となり、英国のEU離脱決定による懸念等から、先行きへの不安が広がっています。

このような状況のもとで、当社グループはグローバル市場で積極的な販売活動を行ってまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、9,451百万円と前年同期と比べ70百万円の減少(前年同期比0.7%減)となりました。営業利益は278百万円と前年同期と比べ17百万円の減少(前年同期比6.0%減)、経常利益は100百万円と前年同期と比べ78百万円の減少(前年同期比43.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は80百万円と前年同期と比べ17百万円の減少(前年同期比17.8%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 輸送機器用事業

輸送機器用事業においては、中国の景気減速やブラジル子会社の事業縮小による減少要因はありましたが、フランス子会社における新製品立ち上げやインド子会社の量産開始等から販売は増加となりました。

その結果、売上高は7,031百万円と前年同期と比べ236百万円の増加(前年同期比3.5%増)となり、セグメント利益は238百万円と前年同期と比べ42百万円の減少(前年同期比15.2%減)となりました。

② 一般産業用事業

一般産業用事業においては、OA、昇降・運搬業界向けの販売は前期比プラスとなりましたが、モーター、変・減速機、金属工作・加工、印刷・製本業界向け等の販売は減少となりました。

その結果、売上高は2,194百万円と前年同期と比べ229百万円の減少(前年同期比9.5%減)となり、セグメント損失は9百万円と前年同期と比べ20百万円の減少(前年同期比－%)となりました。

③ その他

その他では、売上高が225百万円と前年同期と比べ77百万円の減少(前年同期比25.4%減)となりました。セグメント利益は1百万円と前年同期と比べ27百万円の減少(前年同期比96.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は主に、現金及び預金の減少等により26,773百万円(前期末比972百万円減)となりました。固定資産は主に、有形固定資産の減少等により12,862百万円(前期末比580百万円減)となりました。その結果、資産合計は39,636百万円(前期末比1,552百万円減)となりました。

負債につきましては、流動負債は主に、支払手形及び買掛金、短期借入金の減少等により18,623百万円(前期末比575百万円減)となり、固定負債は主に、長期借入金の減少等により5,760百万円(前期末比320百万円減)となりました。その結果、負債合計は24,384百万円(前期末比896百万円減)となりました。

純資産につきましては、為替換算調整勘定の減少等により15,252百万円(前期末比655百万円減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、平成28年5月13日に公表いたしました平成29年3月期業績予想に変更ありません。ただし、今後の経営環境を踏まえ、業績予想の修正が必要である場合は、適時に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,790	7,358
受取手形及び売掛金	10,213	10,177
商品及び製品	3,438	3,174
仕掛品	3,118	3,050
原材料及び貯蔵品	2,058	1,904
繰延税金資産	261	305
その他	971	912
貸倒引当金	△106	△109
流動資産合計	27,745	26,773
固定資産		
有形固定資産	11,268	10,822
無形固定資産		
その他	338	318
無形固定資産合計	338	318
投資その他の資産	1,835	1,721
固定資産合計	13,443	12,862
資産合計	41,188	39,636
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,249	7,833
短期借入金	9,222	8,711
未払法人税等	84	125
賞与引当金	306	101
その他	1,336	1,852
流動負債合計	19,199	18,623
固定負債		
長期借入金	4,359	4,135
繰延税金負債	244	187
役員退職慰労引当金	605	616
関係会社整理損失引当金	144	141
退職給付に係る負債	81	83
資産除去債務	18	18
その他	627	577
固定負債合計	6,081	5,760
負債合計	25,280	24,384

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,858	1,858
資本剰余金	1,844	1,844
利益剰余金	11,650	11,580
自己株式	△348	△348
株主資本合計	15,005	14,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	385	313
為替換算調整勘定	327	△173
退職給付に係る調整累計額	△162	△142
その他の包括利益累計額合計	551	△2
非支配株主持分	351	318
純資産合計	15,907	15,252
負債純資産合計	41,188	39,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	9,521	9,451
売上原価	7,838	7,835
売上総利益	1,682	1,616
販売費及び一般管理費	1,386	1,337
営業利益	296	278
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	19	20
不動産賃貸料	17	17
その他	63	33
営業外収益合計	107	78
営業外費用		
支払利息	53	44
手形売却損	1	1
租税公課	8	9
為替差損	149	179
その他	12	20
営業外費用合計	225	255
経常利益	178	100
特別利益		
国庫補助金	52	—
特別利益合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	231	100
法人税、住民税及び事業税	164	97
法人税等調整額	△41	△87
法人税等合計	123	9
四半期純利益	108	91
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	97	80

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	108	91
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	169	△72
為替換算調整勘定	1	△524
退職給付に係る調整額	9	19
その他の包括利益合計	179	△576
四半期包括利益	288	△485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	277	△473
非支配株主に係る四半期包括利益	10	△12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,794	2,423	9,218	302	9,521
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19	2	21	—	21
計	6,814	2,425	9,240	302	9,543
セグメント利益	281	11	292	28	321

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	292
「その他」の区分の利益	28
内部取引消去	△27
棚卸資産の調整	△1
減価償却費の調整	2
全社費用(注)	0
四半期連結損益計算書の営業利益	296

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	輸送機器用事業	一般産業用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,031	2,194	9,225	225	9,451
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12	1	13	—	13
計	7,043	2,195	9,239	225	9,465
セグメント利益又は損失(△)	238	△9	229	1	230

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、防災関連業界向け等の輸送機器用事業および一般産業用事業以外の事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	229
「その他」の区分の利益	1
内部取引消去	△15
棚卸資産の調整	60
減価償却費の調整	2
全社費用(注)	1
四半期連結損益計算書の営業利益	278

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。